



築堤工事で姿をあらわした堤防

水の事故を
なくしましょう！

例年 六月から八月までの三か月間は、一年のうちでも水による子どもの犠牲者が最も多い時期です。子どもたちは水遊びが好きなのですが、度をこした遊びは悲しい事故につながります。保護者のみなさんは十分注意しましょう。なお写真の能代分流水事の掘削現場は水たまりなどがあって、大変危険です。付近の方は、子どもを絶対に近づけないようご家庭でも注意してあげてください。

おもな内容

- …新たな「基本構想」の骨子がぎまりました。2～5ページ
- …ダブル選挙に市民の審判 6ページ
- …交通事故が増えています。人も車も注意を。7ページ
- …町内対抗・少年野球の参加チームを募集します。8ページ
- …図書館で「小泉其明・蒼軒展」を開きます。12ページ

大地に川をはしらせる

能代分流の工事が一段と本格化し、地上に、地下にその姿をあらわし始めました。水害禍解消のためにつくられる能代分流は、大関地内から下興野橋にかけて、川幅百五十メートルで結ぶ人工の川です。

市民の待ちに待ったこの川も、六月からの掘削作業で、土を掘り、堤防をつくるなかで一日一日と現実のものとなつていきます。

能代分流は暫定通水を五十八年に見込んでいますが、大地に川がはしる日もあと少しのところまでできています。

(写真は新金沢町地内)